

～流山の明日を語ろう～
“トーキングカフェ”
(無作為抽出型市民会議)
実施報告

平成30年6月
流山市



～流山の明日を語ろう～“トーキングカフェ”

実施報告 目次

I. トーキングカフェの概要

1. 目的	3
2. 参加者の構成	4
3. 検討の進め方	6

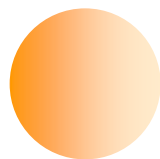
II. 各グループからの意見

1. 6月16日（土） 会場：おおたかの森センター	8
2. 6月17日（日） 会場：南流山センター	16
3. 個別インタビュー（北部公民館、東部公民館）	24

III. 参加者アンケート

1. アンケート結果	28
------------	----

～流山の明日を語ろう～“トーキングカフェ”
I. トーキングカフェの概要



1. 目的

(1) 実施目的

- ◆ 今回の「～流山の明日を語ろう～“トーキングカフェ”」は、平成32年度を初年度とする次期総合計画を策定するにあたって、基礎資料の1つとして活用するため、市民の視点から、今後10年先を見据えた流山市の新しいまちづくりのあり方を検討することを目的としています。

(2) 実施方法

- ◆ 市民の視点から、流山市の強み・弱みの洗い出しと、強みを伸ばし・弱みを克服するためのアイデアなどを検討する手法として、“ワークショップ（※）”の手法を取り入れました。
- ◆ 各グループが検討した結果は、ファシリテーターがとりまとめ発表したほか、本実施報告としてとりまとめました。

※ワークショップ・・・参加メンバーがまちづくりや計画策定という共通目標の達成に向けて課題や情報を共有し、お互いの立場や多様な意見を尊重・理解し合いながら交流することにより、解決策や提案をまとめていくという参加・体験型の検討作業の場です。

2. 参加者の構成 (1 / 2)

(1) 参加者の選出方法

- ◆ 平成30年4月現在市内在住の満15歳以上の方3,000人を無作為抽出し、案内状を送付しました。その中から応募のあった方を対象に招待状を送付しました。

(2) 検討グループの構成

- ◆ 参加者全員が均等に発言できる機会を確保し、かつ活発な話し合いが行えるよう、年代と人数に配慮しました。

【案内状のイメージ】

別紙

流山の明日を語ろう“トーキング カフェ”
～地域別市民会議の参加者大募集～

流山市では、将来のまちづくりの指針となる「次期総合計画」の策定を進めています。この計画に市民の皆さまのご意見を反映させるため、このたび市民会議を開催します。

◆『流山の明日を語ろう“トーキング カフェ”』とは
市民会議という名前がついていますが、お所を飲みながら、お菓子をつまみながら、お父さんのお話しを聞きながら、みなさんの思いのままにご意見を伺います。
グループに分かれての無難な話し合いになりますが、それぞれのグループに進行役がいますので、専門的な知識や委員などの経験は必要なく、はじめのうちは安心してご参加いただけます。
ぜひ、この機会に、平塚市流山の明日について考えませんかみなさんのご応募お待ちしております。

※ 1グループあたり15名程度までご参加いただけます。
※ 1歳未満の子供はご参加いただけません。
※ 応募お申し込み

1. 日時・場所

お住まいの地域	日時	場所
北部地域	6月16日(土) 14時～17時	北部公民館(大会議室)
中部地域	6月16日(土) 9時～12時	おおたかの森センター(ホール)
南部地域	6月17日(日) 9時～12時	南流山センター(大ホール)
東部地域	6月17日(日) 14時～17時	東部公民館(大会議室)

※ 地区区分がわからない場合は、市庁舎階数の上4でご確認ください。
※ 各区域の地域別の詳細のご案内は、各区域の会議にご参加いただいても構いません。

2. 応募できる方
この案内が届いている方(このたびの市民会議開催をお願いすることとなった方)

3. 募集人員
各区域(区)別、応募多数の場合は、抽籤となります。
応募結果は、応募者全員に、6月上旬に書面にてお知らせします。

4. 応募方法
「別紙用紙」(別添)に必要事項をご記入の上、ご記入いただいた募集要項とともに同封の返信用封筒に入れ、5月18日(金)までには郵便ポストへ投入してください。

5. その他
お申し込みや交通費などの費用はありません。一時保育をご利用いただけます。
お子さま(1歳6か月以上の未就学児)は、一時保育をご利用いただけます。

問合せ 流山市企画政策課 TEL7150-6064 FAX7150-0111
Eメール kikakukei@city.nagaraya.nagasaki.jp

【招待状のイメージ】

流山の明日を語ろう“トーキング カフェ”
ご招待について

〇〇〇様

日ごろは、流山市政にご理解ご協力いただきありがとうございます。
このたびは、「～流山の明日を語ろう～トーキングカフェ」にお申し込みいただき、誠にありがとうございます。
下記のとおり開催しますので、ぜひご参加いただけますようお願い申し上げます。
当日は、リラックスした雰囲気の中で、皆さまが気軽にお話しできるような環境をご用意しております。
皆さまにお会いできることを心よりお待ちしております。

流山市長 井崎 義治
記

日 時：平成30年6月16日(土) 午前9時00分～12時00分まで
※ 開始10分前には会場にお集まりください。

会 場：流山市おおたかの森センター(流山市市野谷62-1-1)
アクセス：最寄り駅は、東武アーバンパークライン/つくばエクスプレス「流山おおたかの森」駅
西口/南口より徒歩11分
バスご乗車の場合は、「流山おおたかの森」駅 西口
京成バス【流03】(流山市役所・平和台経由)→「おおたかの森小・中学校」下車すぐ

※ 駐車場には限りがございますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。
持ち物：特にお持ちいただくものはございません。手ぶらでご参加ください。

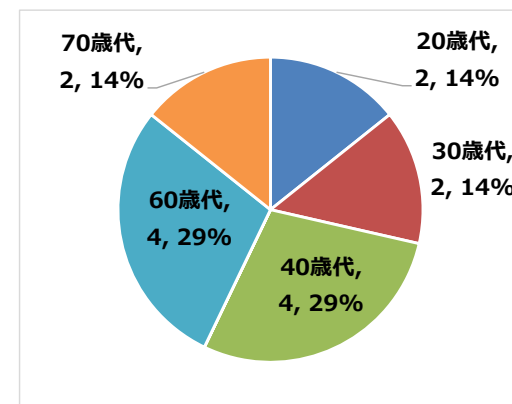
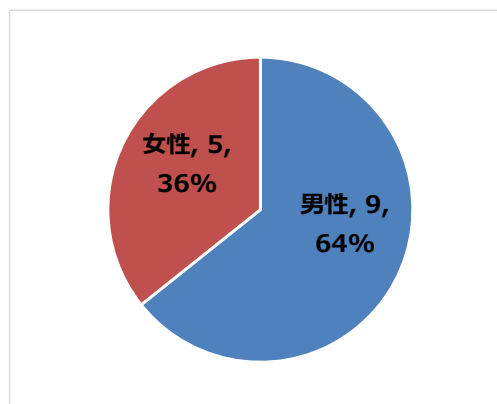
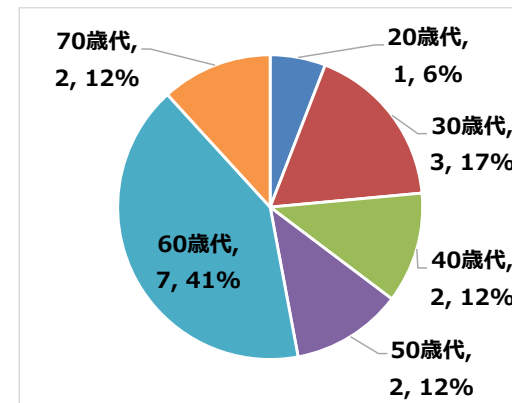
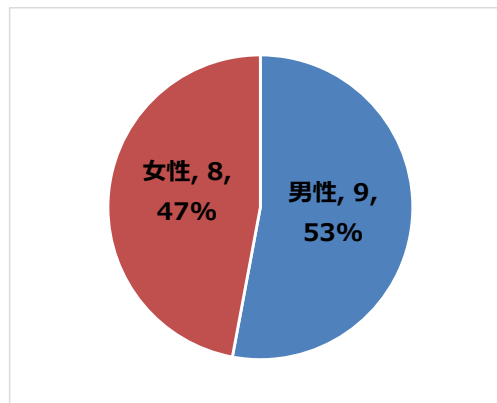
【お問い合わせ先】 流山市企画政策課 電話 04-7150-6064
※ 当日にやむを得ず欠席や遅刻する場合は会場に直接お電話ください。
(〇〇会場 電話 00-0000-0000)

2. 参加者の構成 (1 / 2)

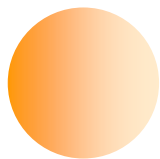
(3) 参加者の構成

6/16(土) 会場： おおたかの森 センター	グループ	人数
	A	7名
	B	5名
	C	5名

6/17(日) 会場： 南流山 センター	グループ	人数
	A	7名
	B	7名



※北部公民館、東部公民館は、参加希望者が少なかったことから、それぞれインタビュー形式でお考えを伺いました。
(北部公民館2名、東部公民館1名)



3. 検討の進め方 (1 / 2)

(1) トーキングカフェでの検討の進め方

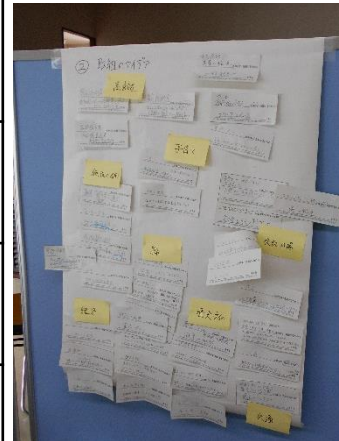
- ◆ 今回のトーキングカフェでは、「住み続けたい・住んでみたいまち・訪れたいまち」としての強み・弱みの洗い出し、「強みを伸ばし・弱みを改善するための基本的取組」、基本的取組の推進により、「今後こうなって欲しいまちの姿」の検討を行いました。

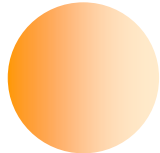
【とりまとめイメージ①】



9:00~9:20	目的・ルール・進め方等の共有、市長あいさつ
9:20~9:40	メンバー自己紹介
9:40~10:20	ステップ① 「住み続けたい・住んでみたいまち・訪れたいまち」としての強み・弱みの洗い出し
10:20~11:00	ステップ② 「強みを伸ばし・弱みを改善するための取組
11:00~11:40	ステップ③ 今後こうなって欲しいまちの姿
11:40~12:00	話し合いの振り返り

【とりまとめイメージ②】





3. 検討の進め方 (2 / 2)

(2) 当日の様子

【市長による市の現状の説明】



【会場の様子】



【話し合いの様子①（おおたかの森センター）】



【話し合いの様子②（南流山センター）】



～流山の明日を語ろう～“トーキングカフェ”

Ⅱ. 各グループからの意見

1. 6月16日（土） 会場：おおたかの森センター

1. ステップ①

主な強み（良いところ、伸ばしたいところ、好きなところ）

- ① 人口増による活気がある
- ② 交通・生活利便性がよい
- ③ 施設・医療費等、子育て施策が充実し子育てしやすい
- ④ 緑が多く、美しい街並みがあり、道路も整備されつつある
- ⑤ 治安がよい
- ⑥ 地価・住宅が割安
- ⑦ 地域内での結びつきの強い
- ⑧ 歴史的・文化的環境が良い





1. ステップ①

主な弱み（悪いところ、改善したいところ、気になるところ）

- ① 道路の交通環境が悪く、バスも不便
- ② 公共施設不足・アクセス不便
（子ども向け屋内遊戯施設、文化施設、墓地、子育て施設の長期的活用）
- ③ 開発の急速な進展による計画との不整合が発生
- ④ 子育て環境のPRと実態との不整合が発生
- ⑤ 市を代表する売りやイベントがなく、市内外への情報発信・PRが不十分
- ⑥ 新旧住民の交流が少なく、自治活動が活発化していない

1. ステップ②

強みを伸ばし・弱みを克服するための基本的取組(1 / 3)

(1) 緑の保全・形成

- ◆ 「都心から一番近い森のまち」という強みを活かすため、近隣の都市と連携して緑の連続性の創出に取り組む。
- ◆ 緑の都市、森のまちとしての特性を伸ばすため、これまでに喪失された森や水源、生態系の再生に取り組む。
- ◆ 緑の保全・形成とバランスのとれた宅地開発を促進するため、開発の計画段階で市民から意見・要望等を募る。

(2) 交通利便性の向上

- ◆ 市がつくばエクスプレスの株主であることから混雑緩和のために資金を提供する。
- ◆ バスのダイヤ編成を増強する。
- ◆ まちの吸引力の向上にも結びつくよう、行政がつくばエクスプレスの運賃の値下げ交渉を行う。

1. ステップ②

強みを伸ばし・弱みを克服するための基本的取組(2 / 3)

(3)子育て支援施策の充実

- ◆ 子育てニーズはどんどん変化するので、継続的にニーズ把握を行う。
- ◆ 子育てサービスの充実のため、民間学童への補助・学童送迎ステーション設置、シニア層などのボランティア活用、子育て支援センターの土日開所などを実施する。

(4)地域コミュニティの活性化

- ◆ 自治会組織の強化・イベント開催・活動場所や情報提供等を行うことで、新旧住民の交流を促進し、地域コミュニティを活性化させる。

(5)情報発信力の強化

- ◆ 知名度を伸ばす流山独自のイベントを開催しPRを行う。
- ◆ 今回のようなトークングカフェを数多く開催するなど、市民と行政のほか市民同士の情報共有の機会を設ける。
- ◆ より多くの人たちが訪れてもらえるよう、まちの魅力の情報発信に特化した専用アプリなどを開発し、地域で開催されるイベントの情報発信を強化する。

1. ステップ②

強みを伸ばし・弱みを克服するための基本的取組(3 / 3)

(6)その他

- ◆ 1人でも生活できる環境をつくるため、計画的なまちを整備する。
- ◆ 市内の事業所・雇用を伸ばすため、企業誘致を行う。
- ◆ まちの持続性を高めるため、不妊治療に対する補助に取り組む。
- ◆ 市域面積が比較的狭いという地域特性を活かすため、ハード・ソフトの両面から自転車の利用を促進する。
- ◆ 将来的な要介護者の増加に対応するため、A I やロボット等の新技術の導入を推進する。
- ◆ 急激な人口増加を克服するため、キャッチコピーを一時的に控える。



1. ステップ③

今後こうなって欲しいまちの姿 (1 / 2)

(自然と利便性の共存、快適なまち)

- ◆ 生活・仕事の利便性のあるまち
- ◆ 自然と便利の共生するまち
- ◆ 安心してらせるまち
- ◆ 緑が多くてやすらぐまち
- ◆ 空が見えるまち

(うるおいのあるまち)

- ◆ 四季折々の風景を実感できるまち
- ◆ 自然と人工物がほどよく共存したまち
- ◆ 緑、歴史・文化、子育てが充実したまち



1. ステップ③

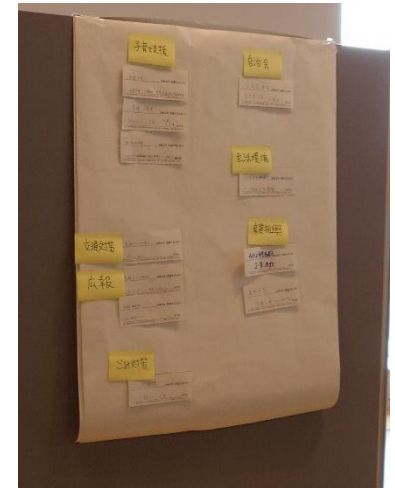
今後こうなって欲しいまちの姿 (2 / 2)

(人と人の交流・協働)

- ◆ 和気あいあいと住みやすいまち
- ◆ のんきに暮らせる安心なまち
- ◆ 子ども、子育て世代、要介護者、身体に障害のある方を含め、だれもがいきいきと暮らせる、バリアフリーのまち
- ◆ 新旧住民が共存しているまち
- ◆ 市民が行政と協働するまち

(その他)

- ◆ 日本伝統文化育成のまち
- ◆ 疑問を持たないまち



～流山の明日を語ろう～“トーキングカフェ”

Ⅱ. 各グループからの意見

2. 6月17日（日） 会場：南流山センター

2. ステップ①

主な強み（良いところ、伸ばしたいところ、好きなところ）

- ① 都心への交通の便が良い
- ② 子育て世代や高齢者など各世代への支援が充実している
- ③ 道路が広く、サイクリングなども楽しめる
- ④ 緑や公園などの地域資源が豊富で
落ち着いた生活が送れる
- ⑤ 古民家など地域の歴史・文化などに
ふれあえる
- ⑥ 開発によって活気がある
- ⑦ 日用品の買い物等の利便性が良い
- ⑧ 市職員が親切である





2. ステップ①

主な弱み（悪いところ、改善したいところ、気になるところ）

- ① 無秩序な開発による地域格差の発生や地域の特性が生かせていないところもある
- ② 開発に伴い緑が減少している
- ③ 細い道路が多く、路面も整備されていない
- ④ 子育て世代・高齢者ともに人口増を見込んだ対策が不十分で支援が不足しているところもある
- ⑤ 外国人の生活への支援が不足している
- ⑥ 歴史・文化などのPRが足りない
- ⑦ 流山市民という意識が低いところもある
- ⑧ 歩きタバコなど市民のモラルが低いところもある

2. ステップ②

強みを伸ばし・弱みを克服するための基本的取組(1 / 3)

(1) 高齢者支援の充実

- ◆ 病院など生活拠点で高齢者が気軽に交流できる環境を整備する。
- ◆ 認知症の方向けのカフェやQRコード等を活用した分かりやすい情報提供を行う。
- ◆ 有料ボランティアによる日常生活の手助け等を充実させる。

(2) 子育て世代への支援の充実

- ◆ 保育士の給料や待遇の向上、支援内容の分かりやすい情報発信、子育て世帯が利用可能な施設等へのマーク表示に取り組む。
- ◆ 他自治体にはない子育て支援制度の創設・アピールを実施する。
- ◆ 子育て中の母親等の就業に向けて、ワークスペース等の場を整備する。
- ◆ 教育の充実のため、市独自の英語教育を実施する。
- ◆ 公園が多いという強みを活かし、赤ちゃんも安心して遊べる公園の整備に取り組む。



2. ステップ②

強みを伸ばし・弱みを克服するための基本的取組(2 / 3)

(3) 公共施設の活用

- ◆ 高齢者・子育て世代の増加に対応するため、病院・保育園・学校等の関連施設を充実させる。
- ◆ 施設を将来的にも有効活用するため、新規の学校等は他の施設への転用が可能となるように設計する。

(4) 買い物環境の整備

- ◆ 市内消費促進のため、地域商品券の発行など市内の買い物に特典を与える。
- ◆ 食品・日用品だけではなく趣味に関する品も購入できる店舗や大型スーパーを市内に誘致する。

(5) 市民意識の向上

- ◆ 町内会・自治会組織を見直す。
- ◆ 地域包括支援センターによる支援活動を見直す。
- ◆ 市民同士が助け合うイベントや野菜直販など市民の交流の機会を増やす。

2. ステップ②

強みを伸ばし・弱みを克服するための基本的取組(3 / 3)

(6)観光振興

- ◆ ゆるキャラ等を用いた親しみやすいPRを実施し、市の知名度を向上させる。
- ◆ 市内のお店や名所・名産品等の情報発信に取り組む。
- ◆ 本町への来訪者を増やすため、流鉄の延伸やつくばエクスプレス沿線からの無料シャトルバスの運行などにより交通利便性を向上させる。

(7)その他

- ◆ 南流山駅利用者が駅周辺で滞在することができるよう、駅構内・駅周辺に買い物・休憩できる場所を整備する。
- ◆ 流山市内で生まれ定住する人を増やすため、3世代世帯への支援措置や定住促進策に取り組む。
- ◆ 緑の保全のため、計画的な開発規制や里山づくりを行う。
- ◆ 流山の芸術・文化の良さを伸ばすため、市内の芸術家の支援や運河・街道の整備を進める。

2. ステップ③

今後こうなって欲しいまちの姿 (1 / 2)

(住み続けたいまち)

- ◆ 住むことも働くことも遊ぶこともできるまち
- ◆ 子どもが安心して暮らせるまち
- ◆ 流山で育った子どもが流山で子どもを育てたいと思えるまち
- ◆ 高齢者が現住地で生活を完結させられるまち
- ◆ 健康で長生きできる（運動ができる場所を増やす）まち
- ◆ 若い方も年配の方も笑いがあるまち

(地域コミュニティ・市民の交流)

- ◆ 住む人が生き生きと活動・活躍するまち
- ◆ 歩いて話して休めるまち
- ◆ 子育て世代も高齢者も安心して暮らせるまち
- ◆ 優しさと安らぎのまち



2. ステップ③

今後こうなって欲しいまちの姿 (2 / 2)

(緑や自然の保全)

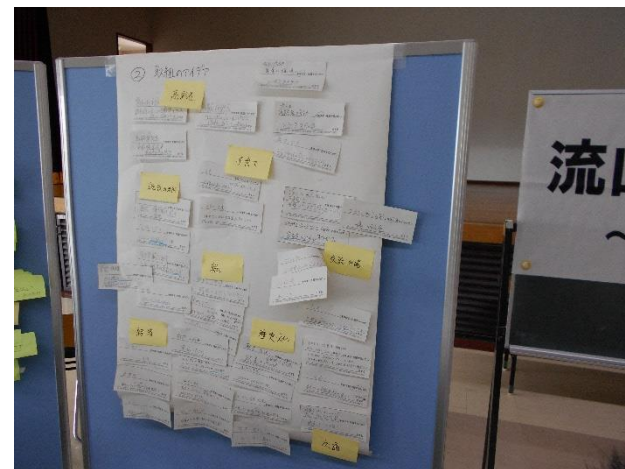
- ◆ 緑が豊かで住民が誇れるまち
- ◆ ほどほどにいなかなまち
- ◆ 50年後も森のまち

(シビックプライドのあるまち)

- ◆ 流山市民が流山市を積極的にアピールできるまち
- ◆ 知名度が低い点を克服したまち
- ◆ 現在と歴史が交差するまち
- ◆ 今度の休みに流山に行こうよと言われるまち

(その他)

- ◆ 新しいものと古いものの両方があるまち
- ◆ 歴史と緑と子育てのまち
- ◆ 自然・文化・歴史を後世に伝えられるまち



～流山の明日を語ろう～“トーキングカフェ”

Ⅱ. 各グループからの意見

3. 個別インタビュー（北部公民館、東部公民館）

3. 個別インタビューでの主な意見 (1 / 3)

(子ども・子育て・教育)

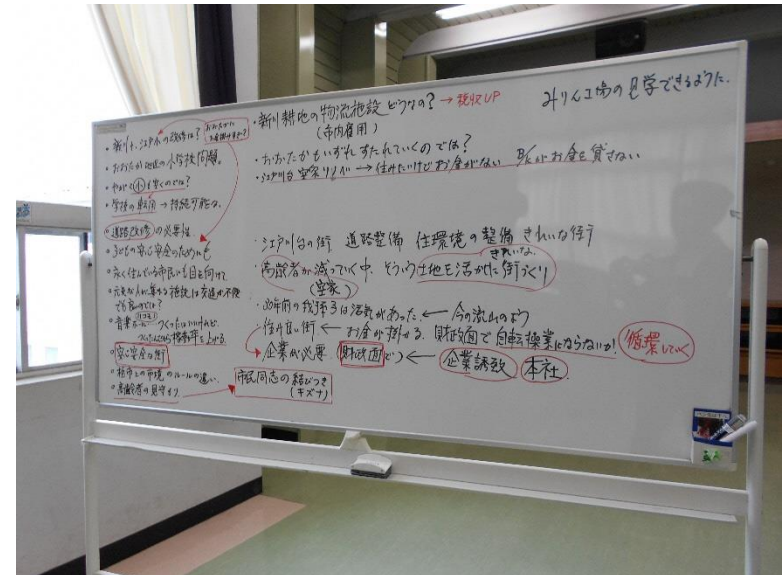
- ◆ アピールポイントが「子育て」なのは分かるが、そこへエネルギーを注ぎすぎと感じる。
- ◆ 市内の高校が限られており、子どもの成長に伴い切れ目ができている。

(高齢者)

- ◆ 子育て・教育はまちの政策として今後も重要であるが、買い物・移動手段の確保など高齢者の生活にも配慮がほしい。
- ◆ 高齢者が社会・地域とつながる仕組みが必要。

(地域コミュニティ)

- ◆ 町内会など地域のつながりは強いと感じる。



3. 個別インタビューでの主な意見（2 / 3）

（市街地整備）

- ◆ 数十年後を見据えたまちの整備を進めて欲しい。
- ◆ マンションは住民の入れ替わりが激しく、今建設しているマンションも30年後には廃墟となってしまうのではないか。
- ◆ おおたかの森とその他の地区の格差が大きいように感じる。
- ◆ 若い世代が空き家などの古い家を買おうとしても、銀行が融資しないため費用面で断念してしまっているケースがある。
- ◆ 子育ての呼び込みと緑の維持の両方を大切にしてほしい。

（公共施設）

- ◆ 学校施設等も将来を見据えて転用が容易にするべきである。
- ◆ 文化施設もおおたかの森など新しく整備した地域に集中していると感じる。
- ◆ 体育館は元気な人が利用する場所であり、まちの外れでもよいのではないか。
- ◆ 文化会館ホールなども維持費用からみると稼働率は高くないのではないか。

3. 個別インタビューでの主な意見（3 / 3）

（道路・交通）

- ◆ 江戸川台は駅前以外の道路整備が不十分に感じる。
- ◆ 柏市は歩道内の自転車走行が可能であり、流山市は不可だが、市境を柏市側から自転車で移動してくる人がそのまま歩道内を走行しており危険である。
- ◆ 市内移動について、自家用車以外では駅前への移動も不便である。生涯学習センター等の地域の拠点を通るバスを充実させてほしい。

（産業）

- ◆ 地場の大企業がないまちは活気の維持が難しく、かつての我孫子市と似ているように感じる。

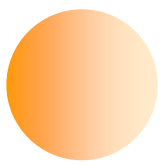
（行政サービス）

- ◆ 東部出張所でも多くの行政サービスを取り扱っているが、一部の手続きは市役所へ行く必要があり不便を感じる。
- ◆ 南柏駅周辺は活気があり買い物をする場所も充実している。

～流山の明日を語ろう～“トーキングカフェ”

Ⅲ. 参加者アンケート

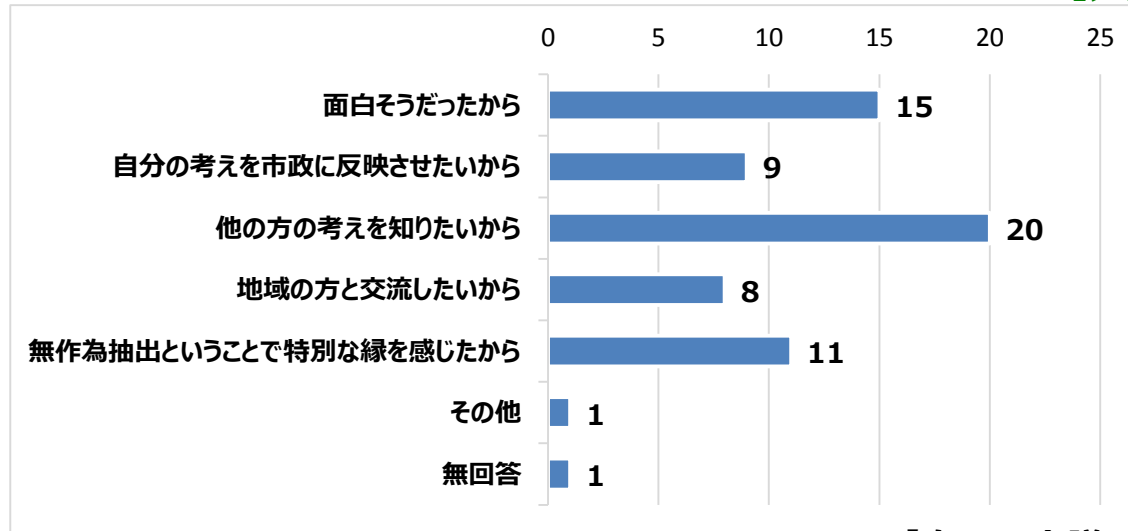
1. アンケート結果



1. アンケート（1 / 2）

【今回の会議に参加した理由（複数回答）】

【アンケート結果(n=32)】

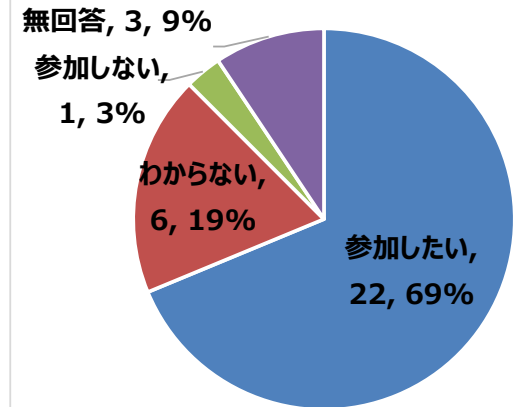
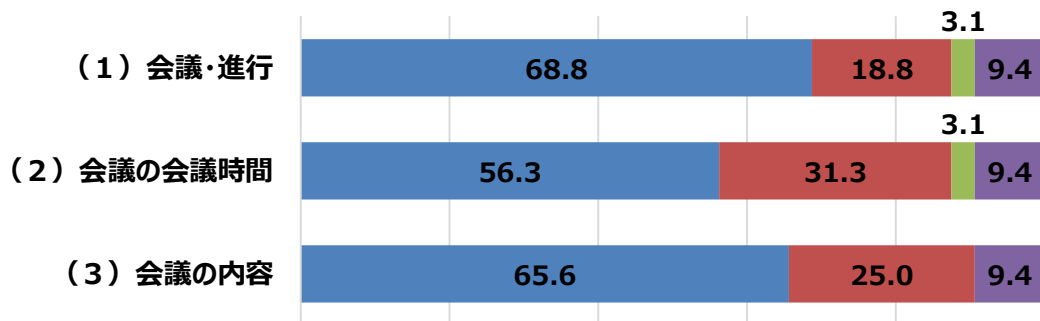


【今回の会議の感想（択一）】

【次回の会議の参加意向（択一）】

■ 1. 満足 ■ 2. 普通 ■ 3. 不満 ■ 4. 無回答

0% 20% 40% 60% 80% 100%



1. アンケート（2 / 2）

【その他ご意見・ご感想（主なもの）】

- 事前のアイデア整理シートを記入しなかったため、アイデアをあまり多く出せなかった。
- 地域、年代、性別などまちまちで同じ流山に住んでいる同士の話し合いはとても楽しかった。他の方にもぜひ体験してほしい。
- 開始時間がもうちょっと遅いと嬉しい。
- 若い世代の女性の参加も欲しい。シニアの方の参加もあれば良かった。
- ファシリテーターにもっと参加者の意見を引きだし、うまくまとめる役割を担ってほしかった。
- 思っていたよりあっという間の時間でした。意見をたくさん聞いて良かった。これからの流山の楽しみになった。
- カフェ感はなかった。
- やはりこういう機会が無いので、これからも増やしてほしいと思いました。
- 具体的成果を報告してほしい。
- これからの参考となった。
- このような経験は初めてでしたがリラックスして参加できて良かった。
- 参加者が少なかった。
- このような市民参加型を続けてほしい。
- 市政や将来を考える機会になって良かった。
- 若い人の話しが聞いてよかった。
- 色々な流山市の地域の方と話せて貴重な意見が聞いて楽しかった。
- 環境の異なる人たちからの意見が新鮮かつ鋭くて個人的に知的にも刺激があって満足した。
- ぜひ、市民の意見を反映した計画にしてほしい。